



キュラーズが、プロジェクト ポートフォリオ 管理の強化により運営コストを削減

概要

国/地域: 日本

業種: 貸し倉庫サービス

顧客プロフィール

キュラーズは、主に不動産投資、不動産開発、顧客指向の貸し倉庫サービスを取り扱う民間企業であり、全国の主要都市で 36 店舗を展開しています。上記のサービスに加えて、駐車場、文書管理、データ保管などのサービスも提供しています。

ビジネス状況

事業の急成長とプロジェクト数の増加を受けて、キュラーズはさまざまなプロジェクトの提案を評価/管理するためのソリューションを必要としました。

解決策

キュラーズはアビュータス・ソリューションズの協力のもと、マイクロソフトの統合ソリューションを導入しました。これにより、カーボン フットプリントやエネルギー コストの削減といった、同社のビジネス目標に沿ったプロジェクトを確実に遂行できるようになりました。

利点

- 需要管理
- ポートフォリオの選択と分析
- チーム コラボレーション
- ビジネスインテリジェンスとレポート作成

「Project Server 2010 のプロジェクト ポートフォリオ管理機能を活用することにより、エネルギー削減を始めとする当社の戦略目標を達成するために最適なプロジェクトの組み合わせを容易に選択できるようになりました」

Aaron Farney、IT ディレクター、キュラーズ

東京に本社を置く民間企業のキュラーズは、日本で最も成功を収めている国内最大の貸し倉庫業者です。全国の主要都市に 36 店舗を展開しており、各店舗には 250 ～ 1500 室の収納ユニットを備えています。収納ユニットは 1 m² 未満から 15 m² を超えるものまでさまざまなサイズが用意され、各ユニットのセキュリティも確保されています。どの店舗も明るく清潔で、24 時間いつでも利用できるほか、さまざまな問い合わせに対応する「収納コンシェルジュ」が常駐しています。

キュラーズでは、競合他社に対する優位性を保つために、業界で最も高い業務効率を維持できるよう継続的に取り組みを行っており、店舗の運営コスト削減を目的としたプロジェクトをより効率的に選択/管理するためのソリューションを必要としていました。キュラーズは、Microsoft® 認定パートナーであるアビュータス・ソリューションズの協力のもと、この目標に適合する Microsoft® Project Server 2010 と SharePoint Server 2010 をベースとしたソリューションを導入することを決定しました。これにより、ビジネス目標に沿ったプロジェクトをより効率的に選択し、管理することが可能になりました。

「Project Server 2010 と SharePoint 2010 で提供される柔軟なレポート作成とダッシュボードの機能は、キュラーズに大きな利益をもたらすに違いありません」

Michael Treasure、シニア パートナー、
アビュータス・ソリューションズ

現状

キュラーズは、主に不動産投資、不動産開発、顧客指向の貸し倉庫サービスを取り扱う民間企業です。同社の事業は急激な成長を遂げ、現在では全国各地に 36 店舗を所有/運営しています。

キュラーズでは、顧客に費用対効果の高いサービスを提供するために、これらの店舗をできるだけ効率的に運営する必要があります。各店舗において最も大きな固定費の 1 つが、エネルギー消費に対するコストです。そのため、各店舗におけるエネルギー効率の向上を目的とした膨大な数のプロジェクトを評価し、優先順位を付ける必要がありました。

キュラーズの IT ディレクターである Aaron Farney 氏は、次のように述べています。

「キュラーズが展開する 36 のすべての店舗において、運営コストの割合を最も多く占めているのがエネルギー コストです。エネルギー コストの削減を目的としたプロジェクト案は数えきれないほどありますが、その中から最も効果的なプロジェクトを選択するには、ポートフォリオ管理を行うためのソリューションが必要です。また、店舗の大きさ、築年数、現在のエネルギー効率などは店舗によって異なるため、全体のポートフォリオの一部として、各プロジェクト案のコストと利点を評価する必要があります」

これらのプロジェクトの投資回収期間は、15 ～ 50 か月と大きな幅があります。また、リソース不足やスケジュールの制約といった、プロジェクトの優先順位付けにおいて考慮すべき要素もあります。

運営する店舗の数が増加するとリソース不足が生じ、その結果、決められた時間枠内で完了できるプロジェクト数も制限されます。このため、よりいっそう最大限の成

果をもたらすプロジェクトを選択できるポートフォリオ管理ソリューションの必要性が増します。

一方スケジュールの制約は、多くの場合、特定の店舗で特定の時間に稼働可能なリソースが制限されるといった物理的な制約によって発生します。たとえば、スペースが限られている店舗の場合、照明設備と空調設備の改修工事を同時に行えないといったことが考えられます。

解決策

費用対効果が高く、導入が容易、かつキュラーズのビジネス ニーズに合致するソリューションを選定するべく、同社は Microsoft® 認定パートナーであるアビュータス・ソリューションズに支援を求めました。

アビュータス・ソリューションズのシニアパートナーである Michael Treasure 氏は次のように述べています。

「私たちは数年にわたってキュラーズと提携してきました。最初に提案したのは、Project Server 2007 と Windows SharePoint Services 3.0 を IT 部門に導入することでした。キュラーズはアプローチを重ねることによってプロジェクト管理の成熟度を高め、現在では Project Server 2010 と SharePoint 2010 の新機能を存分に活用できるまでになっています」

キュラーズは、Project Server 2010 に統合されたポートフォリオ管理機能に大きな関心を寄せました。「Project Server 2010 にポートフォリオ管理機能が統合されたことは、私たちの観点から言えば間違いなく飛躍的な進歩であり、プロジェクトの選択と比較の作業をより効率的に管理したいという当社の要望にもなっています」と Farney 氏は言います。

「Project Server 2010 にポートフォリオ管理機能が統合されたことは、私たちの観点から言えば間違いなく飛躍的な進歩であり、プロジェクトの選択と比較の作業をより効率的に管理したいという当社の要望にもかなっています」

Aaron Farney、IT ディレクター、キュラーズ

またキュラーズは、現在実装している Project Server 2007 でのレポート作成とビジネス インテリジェンスについても強化を図りたいと考えていました。「Project Server 2010 と SharePoint 2010 で提供される柔軟なレポート作成とダッシュボードの機能は、キュラーズに大きな利益をもたらすに違いありません」と Treasure 氏は言います。

Project Server 2010 と SharePoint 2010 をベースとしたソリューションを導入することにより、キュラーズは、最大のビジネス価値をもたらすプロジェクトをより効率的に選択/管理し、リソースやスケジュールの制約をより容易に特定/解決できるようになったほか、全社に蓄積された既存のテンプレートやプロジェクト管理の実践方法を活用することも可能になりました。

利点

Microsoft® Project Server 2010 と SharePoint 2010 を使用することによって、キュラーズは次のようなさまざまな利点を享受しています。具体的には、需要管理、ポートフォリオの選択と分析、チームコラボレーション、ビジネス インテリジェンスとレポート作成の強化などが挙げられます。

需要管理

キュラーズはこれまで、Project Server 2007 の一部として実装された、カスタムコードを含む InfoPath 2007 フォームと Windows SharePoint Service 3.0 のリストを使用して、需要管理とプロジェクトのワークフロー作成を行っていました。また 3 段階のワークフローとそれに対応するテンプレートを利用して、IT プロジェクトのガバナンス フレームワークを形成していました。

Project Server 2010 と SharePoint 2010 をベースとしたプラットフォームを活用すると、ワークフローやプロジェクトのガバナンスをより柔軟に作成することができます。Project Server 2010 と SharePoint 2010 のガバナンス ワークフローでは、ビジネスケース情報を一元管理するリポジトリが提供され、レポート作成とプロジェクト指標の比較を容易に行うことができます。このようにキュラーズは、ガバナンス ワークフローをより柔軟に作成/管理できるほか、テンプレートやワークフローを社内の別の部署で再利用することが可能です。

ポートフォリオの選択と分析

Project Server 2010 では、実行の可能性があるすべてのプロジェクト案、およびビジネス ケース情報が単一のリポジトリで管理されます。その中から戦略的なドライバーが特定され、各戦略ドライバーの貢献度に基づいてプロジェクトが評価されます。その後、戦略ドライバーへの貢献度に基づき、コストやリソース要件などの制約を考慮しながらプロジェクトが選択されます。

キュラーズは、この新しい機能を使用することにより、可能な限り短い時間枠で最大限の ROI をもたらすプロジェクトを選択できるようになりました。効率性を促進するプロジェクトをより容易に特定し、優先順位をつけることが可能です。また、規制へのコンプライアンスが必要とされるプロジェクトを特定し、適切な優先順位を設定することもできます。

チーム コラボレーション

SharePoint 2010 ではプラットフォームが強化され、チームでのコラボレーションが可能になっています。プロジェクトのメンバーは、Wiki やブログなどの Web 2.0 機能を活用することによって、より柔軟にコ

関連情報

Microsoft Project Server に関しては下記をご覧ください。

www.microsoft.com/japan/project

キュラーズの詳細情報については、0120-15-9773 にお電話いただくか、同社 Web サイト (www.Quraz.com) をご覧ください。

アビュータス・ソリューションズ株式会社の詳細情報については、03-6215-8608 にお電話いただくか、同社の Web サイト (www.ArbutusSolutions.com) をご覧ください。

コミュニケーションを図ることができます。

キュラーズはこの機能を使用することで、複数の部門にまたがるプロジェクト チームのメンバー間のコミュニケーションを改善し、他の部門やビジネス領域のメンバーに蓄積された SharePoint の使用経験やノウハウを活用することができます。

ビジネス インテリジェンスとレポート作成

Project Server 2010 and SharePoint Server 2010 では、さまざまなレポート作成方法とデータ表示方法が用意されています。Excel Services と Visio Services では、柔軟で使いやすいウィンドウをデータと関連するプロジェクトやポートフォリオの中に表示できるため、これまでにない画期的なレポート作成が可能になります。

また、すべてのプロジェクトが一貫したビューで表示されるため、注意が必要なプロジェクトに着目できるようになり、管理がずっと容易になります。

Microsoft Project Server 2010

Microsoft Project Server 2010 は、Microsoft SharePoint Server 2010 のビジネス コラボレーション プラットフォーム サービスと体系化された実行機能が統合された柔軟性の高い業務管理ソリューションです。Project Server 2010 ではプロジェクトとポートフォリオが一元管理されるため、組織はビジネスの優先順位に基づいてリソースや投資を割り当てたり、あらゆる種類の作業を制御したり、強力なダッシュボードを通じてパフォーマンスを視覚化することができます。

ソフトウェアとサービス

- Microsoft サーバー製品ポートフォリオ
 - Microsoft Project Server 2010
 - Microsoft SharePoint Server 2010
 - Microsoft Project Professional 2010

● テクノロジ

- Microsoft Project Web App

パートナー

- アビュータス・ソリューションズ株式会社

この導入事例は情報提供のみを目的としています。明示または黙示に関わらず、この要約に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

文書発行日：2010 年 7 月

Microsoft®